

社会の現状・変化

将来の予測が困難な
VUCA※1の時代

少子化、人口減少、
高齢化

地球規模の
課題

低い労働生産性、
学ばない社会人

国や社会に対する
意識の低下

※1 VUCAとは…「Volatility:変動性」、「Uncertainty:不確実性」、「Complexity:複雑性」、「Ambiguity:曖昧性」の4つの単語の頭文字をとった造語で「ブーカ」と読む。

第二次さくら市生涯学習推進計画「さくら育み学びあいプラン」
【後期計画】では、「学びあい」と「生かしかい」のまち育みを進め、
これからの社会の創り手となる皆さんの**ウェルビーイング向上**※2
にむけて、**一人ひとりの“可能性の花”**咲かせます!

※2 ウェルビーイング(Well-Being)…身体的・精神的・社会的に良い状態であることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。(中央教育審議会教育振興基本計画部会資料より)



学びあいとは、市民同士、
市民と行政、行政同士が
お互いに学びあうこと
生かしかいとは、学習成
果を様々な場面で相互
に生かしかうこと

3大プロジェクト.+1

「越えて 高めて つなぎあう」プロジェクト

重点プロジェクト①
人育て

重点プロジェクト②
まち育み

重点プロジェクト③
未来づくり

世代

時代

空間

時代を越え、世代を越え、空間を越えた学びで、3つの重点プロジェクトをさらに推進します。

生涯学習活動へのきっかけづくり ~学ばなければ もったいない~

市民の誰もが、生き生きと活動し意欲的に学び続けることができるために、さくら市では、生涯学習が充実した“学び”となるための環境づくりを進めています。

生涯学習課では、毎年「さくら市学びガイド」を発行し、「何かを学びたい」と思った市民のために多様な分野の講座を紹介し、学びのコーディネートをしています。公民館では、「エンゼル講座(乳幼児を持つ親の講座)」や「菜の花学級(高齢者講座)」「けいおん講座(青少年講座)」などの各種講座を開設し、参加対象者によって異なる内容の学びを提供しています。



エンゼル講座



生涯学習振興大会



学びガイド2024

多様な学習機会の場の拡充 ~つながり 高まる 市民力~

生涯学習には、教養を高めたり趣味を充実させたりするために、家庭や学習施設で個人的に取り組む「学び」があります。一方で、講座やサークル活動のように複数の人が集まり、一緒に活動したり学んだりする「学びあい」の場もあります。

「学びあい」では、参加した人と人之间に交流が生まれ、「生涯学習によるまちづくり」にもつながっていきます。



さくら未来塾



スマホ講座

ふるさと意識の醸成 ~伝統芸能・文化・歴史に触れる機会の充実~

文化芸術は、人々の心にゆとりと潤いを与え、豊かな感受性を養い、創造性を高めるとともに地域社会を活性化する上で必要不可欠なものです。また、文化芸術は、郷土への愛着を深め、人と人との交流を生む重要な役割を担うものです。市民誰もが文化芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、さくら市の歴史や伝統など郷土の文化資源を大切に守り育て、次世代へ継承をすることにより、新たな文化の創造につなげています。



伝統文化子ども教室



瀧澤家住宅での伝統文化体験

多様な人・団体との協働 きょう どう ~市民・大学・企業等とともに~

さくら市では、市民や企業・大学等と行政が力をあわせて実施している事業がたくさんあります。組織を越えて共に事業を展開することで、企業や大学等の専門性を生かした創意ある事業を展開したりすることができます。このような協働による様々な取り組みが、さくら市を魅力あふれる“まち”へと育んでいます。



宇都宮共和国と協働イベント



宇都宮大学と連携した防災講座

人権尊重のまちづくり ~一人ひとりを大切にすまち~

これからは、性や年齢・障害の有無や国籍に関わらず、誰もが参加できる学習の機会を充実させ、地域共生社会を実現することが大切です。

それぞれ異なる個性を持った人々が、その個性を尊重しながらお互いに協力し、協働できる地域社会をつくるために、さくら市では、「一人ひとりを大切にす」人権意識高揚のための学習活動の充実に取り組んでいます。



親子学び合い事業 インターネットの人権



災害時の人権についての学び

地域学校協働活動の推進 ~学校を核とした地域づくり~

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革・地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。

さくら市では、全小中学校に「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」に取り組んでいます。



押上小学校「ふれあいの里」



氏家中学校ボランティア

次世代を担うリーダーの育成 ~青少年の活発な活動~

さくら市では、市内の施設やイベント等でボランティア活動をしたい小中学生・高校生を「さくらユースボランティア」として募集しています。地域の方々とふれあい、家庭や学校ではできない体験をすることで、青少年の自主性や創造性を育み、地域と交流する機会と場を提供しています。

また、子どもたちを対象とした遊びや体験活動の企画・実施を行う「さくらリーダーズクラブ」は、中高生が主体となって、子ども会活動や市の行事などの支援を行ったり、研修会に参加したりしています。

このように、多くの青少年が市内の様々な地域でボランティアとして活動している姿に、未来の「さくら市」を担うリーダーとしての活躍が期待されています。



さくらリーダーズクラブ



さくら未来塾リーダー企画

青少年を育む 地域のか ~青少年健全育成のために~

青少年が家庭や地域で生き生きと生活するためには、家庭の教育力に加えて、青少年を見守り、育てるたくさんの「地域の大人の力」が必要です。

さくら市青少年センターでは、少年指導員(和輪話隊)によるあいさつ活動や体験活動を展開しています。また、さくら未来塾を開校し、学習サポーターや体験サポーターが青少年の様子を見守ったり賞賛したりしながら、青少年への理解を深めると共に、健全育成に努めています。



さくら未来塾体験コース



青少年センター体験活動

大好きなさくら市を育む ~異世代交流を通して~

これからの地域社会には、子どもから高齢者まで、市民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせる仕組みづくりが大切です。さくら市では、互いに協力し、認め合いながら暮らせる“まち”を育むために、各種団体が異世代交流活動に取り組んでいます。

青少年は、これらの活動を通して、さくら市のひと・もの・ことにふれたことで感じるさくら市への「愛着」「郷土愛」を育んでいくことでしよう。



喜連川小学校きらきらチャレンジ



日本伝統文化こども教室茶道体験

まなび施設マップ

さくらプロジェクト

重点プロジェクト

子ども読書計画

人権教育

サクル市青少年センター

サクル市団体

講座・教室

ボランティアNPO

でまなび施設について

でまなび施設